



唐鉄軍

パートナー

事業内容: 特許、知的財産権訴訟、戦略計画、競争法、海外進出サービス

使用言語: 中国語、英語

経歴概要

唐鉄軍は万慧達知識産権のパートナー、ベテラン弁理士、

唐鉄軍は特に特許紛争処理が得意で、重点で難しい特許訴訟に対して豊富な実務経験を持っています。

唐鉄軍は国家知識産権局化学部の審査官と復審委員会の審判官を歴任し、豊富な特許審査の実務経験を持っている。その後、化学、生物及び医薬案件における国内の有名な特許事務所に入り、10年近くパートナーとして仕事をし、その後万慧達知識産権に加入した。

唐鉄軍は多国籍企業と国内大手企業の特許紛争にコンサルタントと代理サービスを提供していた。復審委員会と各級の裁判所で特許拒絶不服審判及び無効審判、特許行政訴訟及び権利侵害訴訟、特許権帰属の紛争案件を代理した。また、特許有効性の分析、侵害鑑定、自由技術実施分析及び企業の知的財産権戦略に関するアドバイザーサービスを提供している。その主要な分野は医薬、農薬、化工、生物技術などの多くの分野に関わっている。主な取引先はバイエル、Eli Lilly、タウリン化学、ノヴァ、GE、デュボン、ボスコ、浙江新安化工、長春大合生物、ResMed、聖和薬業、泰飛尔医薬、石薬などである。

最高人民法院知的財産法廷の公開審理に代理人として、薬品の行政訴訟及び侵害訴訟を争った。「オルニダゾール」の特許権の侵害訴訟と無効審判の行政訴訟における、南京聖和のメイン代理人として、2件共に勝訴を得た。この事件は最高人民法院の知的財産法廷で初めてのキララ薬物用途特許の民事と行政がクロスした事件です。

また「リバサバン」との特許侵害訴訟でバイエル社の代理を務め、最終審の勝訴を得ました。この事件は販売の申出の行為の認めと「Bolar例外」の適用を明確にした。

最高人民法院を含む各級の法院や復審委員会に公開審理に参加し、国内外の著名企業のメイン弁理士として特許無効審判や行政訴訟を代理し、勝訴を得た。このうち、復審委員会にシンナー社の「アムロジピン、エルベサルタン複方製剤」の特許無効審判、行政訴訟、再審の案件で、シンナー社の代理人として勝訴させた。この案件を通して、特許「審査指南」の理解と適用に対して、公平合理の原則を考慮すべきであることを明確にし、特許明細書に対する「補正超過」の判定基準の理解と確定に重大な影響があり、「最高人民法院知的財産権事件年度報告」(2011)に典型的な判例として収録されている。

最高人民法院を含む各地の各級の裁判所に公開審理に参加し、メイン弁理士として特許権侵害や権利紛争の訴訟を代理する。「瑞強医薬」が胡小泉に訴えた特許権侵害の再審案に唐鉄軍が瑞強医薬の代理として勝訴した。当該案件は特許権侵害案件にクローズ請求項に対する

☎ (86-10) 6892-1000

☎ (86-10) 6894-8030

✉ tangtiejun@wanhuida.com

📍 北京

解釈原則を確立した。本件は「最高人民法院知的財産権事件年度報告」(2012年)に選ばれた。「科力遠」が「愛藍天高新」に訴えた特許権侵害訴訟の再審案件(「科力遠」の代理人)は『2013年中国裁判所十大知的財産事件』に選ばれた。「バイエル農科」が「江蘇天容」に訴えた農薬組成物の特許権の侵害案件に唐鉄軍が特許権者を代理し、当該案件は江蘇高院で和解した。

地方的知的財産権局で特許侵害紛争案件を代理し、勝訴しました。「ソラフィニ」特許事件ではバイエル社を代理して北京と上海との両地方で勝訴しました。両案件はそれぞれ2018年度と2019年度の知的財産権保護10大典型事例に選ばれた。

復審委員会で行った特許拒絶不服審判及び無効審判の多く案件を代理して勝訴した。その中に、代理した「正大天晴」が「天津薬研院」に訴えた無効審判の案件は2011年、復審委員会の十大典型例に選ばれた。その中で、前者は、結晶発明の新規性判断の部分的な原則性問題を明確にした。また、勝訴した他の案件には、組成物の特許請求の範囲を認められ、また補正超過等のホットな問題点に関する審査指針に対する理解及び改正に有意義な影響を及ぶ。

学歴

南開大学 理学学士
北京化工大学 化学工学修士
中国政法大学 民商法修士
米国マーシャルロースク 知識産権法学修士

主な公職

中華全国専利代理師協会 (ACPAA) 会員
中国知識産権研究会 (CIPS) 会員